

全で快適なまちをプロデュースします



イラスト：なかだえり

UR都市機構は、公共団体・住民・事業者をつなぎ、美しいまちづくりのプロデュースをします。



1. 直接事業者としての実績
住宅建設、ニュータウン、再開発事業、公園事業など、幅広いフィールドで景観に配慮したまちづくりを行ってきました。優れた都市デザインや豊かな住環境づくりに関する受賞も、全国各地で約120を数えています。
2. 各種コーディネート・調査業務
平成16年度の主なコーディネート地区
・大手町地区（東京都千代田区）
・山下町県有地地区（神奈川県横浜市）
・大阪駅北地区（大阪市北区）
・九州大学キャンパス地区（福岡県福岡市）
・石垣市中心市街地地区（沖縄県石垣市）
内閣府・国土交通省・環境省等からの受託調査業務多数
3. 中立性・透明性のある公的機関

美しいまちづくりに関する主な支援内容

- ・景観法による景観計画案・景観協定案等の策定
- ・景観形成に資する事業コーディネート
- ・景観形成に関する調査・研究業務
- ・景観デザインガイドラインの作成
- ・まちづくり交付金に係る都市再生整備計画の策定の支援

お問合せ先：独立行政法人 都市再生機構 本社
 〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町六丁目50番地1横浜アイランドタワー
 業務企画部 TEL.045-650-0382
 技術・コスト管理室 TEL.045-650-0815

独立行政法人 都市再生機構

www.ur-net.go.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています

URBAN RENAISSANCE PRODUCER



美しいまちづくり

人が輝く都市をめざして

「人が輝く都市」をめざして、美しく安



街に、ルネッサンス



地域に開く・まちをつなぐ

新しい街をつくるときには、周辺の街との関係性をデザインすることが重要です。地形や環境、人の流れ、街の記憶を読み取りながら、地域を開き、つながり、とけこむ、まちづくりを目指しました。



異なる事業者間をコーディネート

各事業者がまちづくりに関して意識と手法の共有化を図り、地区全体として調和のとれた都市景観を生み出すために、建物デザイン、植栽計画、色彩計画、照明計画などについて、デザインガイドラインを策定しました。

アイレベルの連続性

建物だけではなく、駐車場や歩道、街路樹などの、ボリュームや素材、色彩についてきめ細かな配慮を行い、人の視線からとらえた景観を大事にしています。



桃井三丁目地区 (フィル・ザ・パークス荻窪)

当地区では、UR都市機構と杉並区、民間事業者が連携し、官・公・民が力を合わせたプロジェクトとして進められました。住宅、子育て・高齢者施設、商業施設などの多様な機能をもつ市街地環境と防災公園を一体的に整備しました。「個性豊かな景観形成」「周辺環境との調和」をコンセプトに、地域の新しい生活拠点を生み出しました。

所在地：東京都杉並区
地区面積：9ha (市街地整備5ha、防災公園整備4ha)
用途：賃貸住宅、分譲住宅、商業施設、介護老人保健施設、保育所、防災公園
事業パートナー：民間事業者、杉並区



メインストリートのカツラ並木

緑と水・人と文化

お年寄りや子ども、身体の不自由な人も、安心して暮らし、訪れることのできるまち。鳥や昆虫、季節の草花など、様々な生き物が生息できるまち。人にも環境にもやさしいまちづくりに取り組んでいます。

都市に森をつくる

潤いがあり美しい風景につつまれた人のための居住空間と、都市から姿を消しつつある鳥や昆虫などの生き物が生息できる空間の共存を目指して、積極的な緑化と屋上ビオトープに取り組みました。



多摩川の軸と地域の緑資産を結ぶネットワーク



農家の庭先をイメージした雨水利用の屋上ビオトープ



屋上を利用した開放感ある芝生広場



高層棟から俯瞰できる集会所屋上の緑



駅前からホールへつながるベストラリアンデッキ

人にやさしい空間づくり

地区全体を安全で快適に移動するためにベストラリアンデッキによる歩行者ネットワークを実現しました。さらに、デッキにより景観が分断されないように、地上と建物の連続性に配慮した計画を行っています。

川崎駅西口地区

当地区では産業の構造転換に伴い生じた遊休地の高度利用と道路をはじめとする都市基盤の整備が緊急の課題となっており、新しい都市の「顔」づくりが求められていました。UR都市機構は市街地再開発事業と団地の建替事業を進め、地区全体のまちづくりのコーディネーター役として事業を進めてきました。

所在地：神奈川県川崎市
地区面積：8ha
用途：賃貸住宅、分譲住宅、業務施設、コンサートホール、商業施設、道路、歩行者デッキ、公園
事業パートナー：民間事業者、川崎市



川崎駅西口の顔をつくる景観照明

夜を彩る

夜景は都市のもうひとつの「顔」です。ランドマークとなる光、にぎわいを演出する光、ぬくもりを伝える光・・・、場所と目的に応じて様々な照明計画がなされています。

我国初の景観に関する総合的な法律である「景観法」が2004年6月に成立しました。都市や農村、田園や山林における美しい景観づくりの第一歩が踏み出されました。

UR都市機構では「人が輝く都市をめざして」を企業理念として掲げ、美しく安全で快適なまちづくりに取り組んできました。それは、そこで暮らし活動する人々が輝くことのできる舞台づくりです。

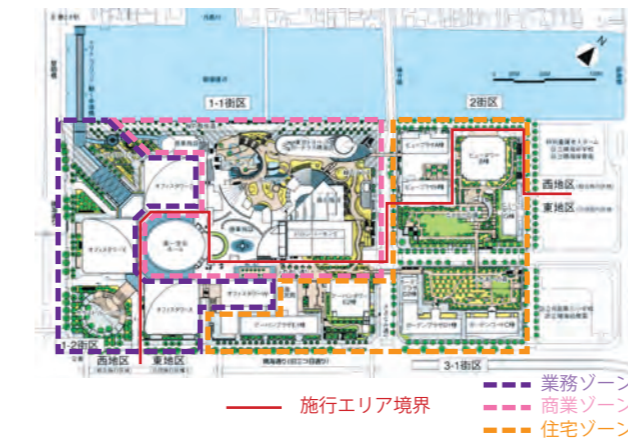
私たちは民間事業者や公共団体のみならずのパートナーとして、美しい景観づくりに取り組んでいます。

はたらく、ふれあう、暮らす場をデザインする

このまちには様々な目的をもった人々が訪れます。たくさんのお会いや、交わりが生まれます。それぞれの場や、空間や、時間にふさわしいデザインがあります。

一体的な都市デザイン

UR都市機構(東地区)と再開発組合(西地区)の異なる施行主体により進められた市街地再開発事業ですが、共同で事業を進め、都市デザインの調整を行いました。



運河沿いの景観



オフィス棟 ガラスや金属など光や空気で変化する素材や色彩でクールなイメージを表現

晴海アイランド トリトンスクエア地区

当地区は、はたらく、ふれあう、暮らす、といった「職住」の機能が複合した大規模開発です。それぞれの機能を表現する個性的なデザインと、街全体の統一性を表現する都市デザインの両立をめざしました。また、まちの魅力を支えるための管理・運営・企画を目指して「晴海をよくする会」を設立し、タウンマネジメントに取り組んでいます。

所在地：東京都中央区
地区面積：8.5ha
用途：賃貸住宅、分譲住宅、業務施設、商業施設、区民館
事業パートナー：再開発組合(民間事業者)、東京都、中央区

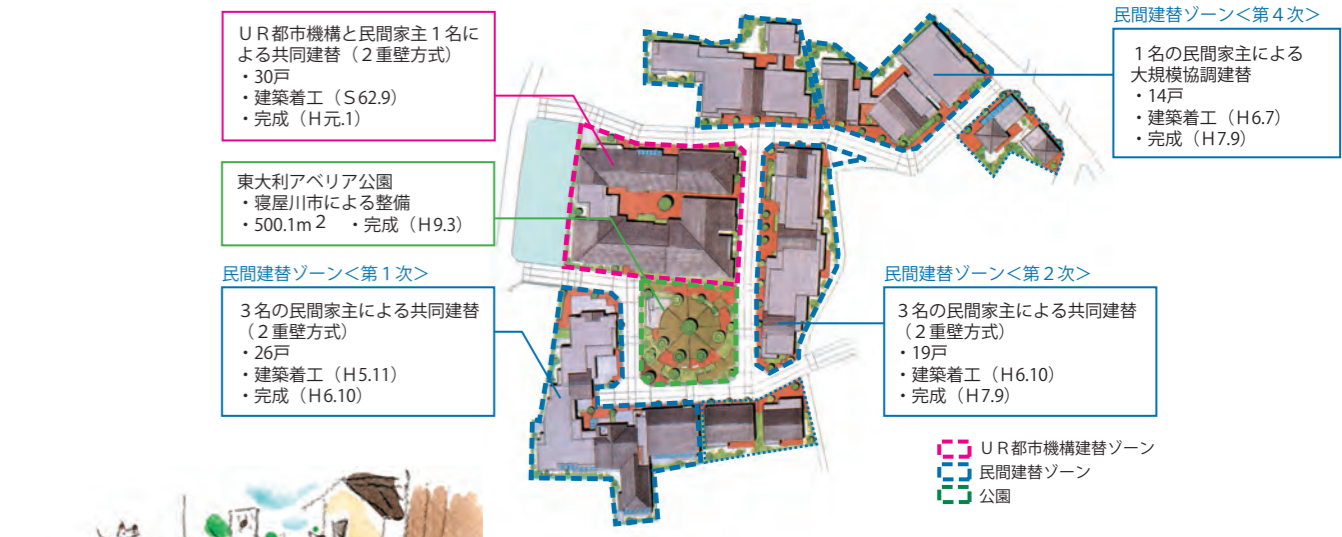


時間とともにシーンを積み重ねる

小さな点となる事業を、時間をかけながら続けることで、線とつながり、やがて面にひろがりました。人々の息づかいの感じられるような空間を目指して、デザインを受け継ぎ、共有しながらまちづくりが進められました。



事業前のまちの様子(昭和61年当時)



ヒューマンスケール

各ゾーンの建替の積み重ねが大きな特徴ですが、各建物の壁面の位置・階数・建築素材・色彩等の整合を図り、公園を取り囲むようにヒューマンスケールな景観をつくっています。

積み重ねのまちづくり

まずはUR都市機構が土地を取得し、隣接する民間家主の建替えとUR都市機構住宅の建設を共同で行いました。これに続いて、周辺の民間家主の共同建替えおよび協調建替えが進み、時間をかけながらも着実にまちが生まれ変わっていきました。



民間建替ゾーン(第4次)



民間建替ゾーン(第1次)



アペリア公園を囲むヒューマンスケールの建物

東大地区

当地区の従前は老朽化した木造アパートが狭い私道を挟んで密集し、防災上危険な市街地となっていました。民間家主、UR都市機構、寝屋川市、大阪府都市整備推進機構が協力し、密集住宅市街の整備を進めてきました。UR都市機構と民間家主による共同建替えが先駆けとなり、隣接した民間家主による共同建替え及び協調建替えが進み、平行して行われた公園・道路等の公共整備により、安全で美しい住宅環境に生まれ変わりました。

所在地：大阪府寝屋川市
地区面積：0.7ha
用途：賃貸住宅、公園、道路
事業パートナー：民間家主、大阪府都市整備推進機構、寝屋川市